

美馬市長 牧田久氏に7人の中学生が聞く

インタビュー

美馬市長 牧田久 × 7人の中学生

mima city mayor hisashi makita

seven junior high school students

まちづくりへの 夢を語る

未来へ
To the future

美馬市の取り組みを取材した

美馬市内7校の中学生たち。

最後に、牧田市長に

美馬市のまちづくりについて伺いました。

未来に向けて、どんなまちづくりの

夢がふくらむのでしょうか。



防災・情報・健康など、あらゆる面で安心のまちづくり

牧田市長 みなさんは、市民の代表として、美馬市の様々な場所を取材してくださいました。その感想も踏まえて、質問をお願いします。

大谷 ぼくは、最初に防災訓練の現場に取材に出かけました。何といっても、安全なまちづくりが一番だと思いますが、危機管理課のほかに、まちの安全を守るために、美馬市ではどんな取り組みをしているのですか。

市長 暮らしの中には様々な危険があり、市民を守るための安全対策があります。危機管理課は企画総務部に属していますが、最も分かりやすいのは消防本部。消防や救急などの業務を行っていますね。みなさんの身近なところでお話すれば、市立中学校の施設の安全を守るのも美馬市の仕事。耐震性は大丈夫か、古



美馬市長
牧田 久

くなって危ないところはないか、多方面から検討し、教育委員会を通じて補強工事などを行います。交通安全を守るのも大切なことです

ね。道路や交通安全の施設は建設部の仕事。また、治山治水や林野火災に関する業務は経済部。病気から市民を守るのは保険福祉部とあらゆる部署で、それぞれにみなさんの安全、安心のまちづくりに取り組んでいるのですよ。

前田 ぼくは、情報の取り組みに一番関心があります。情報基盤整備の今後の計画を教えてください。

市長 まず美馬市地域情報化基本計画

を策定し、情報通信基盤の基礎となる広域ネットワークの整備を進めています。現在は各庁舎や小・中学校、公共施設をつなぐために、光ファイバーで接続する地域インターネット網を整備しています。この次に、各家庭をつ



なく光ファイバー網の整備を実施します。このネットワークを活用して、平成23年(2011)のテレビのフルデジタル化に対応できるケーブルテレビ、高速インターネット、IP電話、防災放送、市からのお知らせなど、幅広い住民サービスを行うよう計画を進めていますよ。IT時代を生きるみなさんが自由を感じない美馬市にしたいと思っています。

香川 わたしは、健康施策の取材をしましたが、予防医療が大切と教えてい

ました。

ただきました。今後の予防医療の取り組みを教えてください。

市長 市民の健康は、美馬市の元気を左右します。それだけに、保健・医療面での取り組みには力を入れていきます。今後は、情報通信ネットワークなどを利用して、保健と医療の情報を共有し、より理想的な市民の健康管理ができるようにしたいと思っています。予防医学では、食の問題からはじまる日々の生活における予防対策が重要です。そのための情報提供や指導を行っています。最後は市民一人ひとりの努力がなければ、それぞれの健康を守ることはできません。どうか、かけがえないみなさんも、健やかな心と体を育てる努力を続けてください。



美馬市の宝、子どもたちを大切に育てるまちづくり



ここで、子育て中のみなさんの理想的なサポート体制を作っていきたいと計画しています。また、公立保育所の保育時間の延長、0歳児の受け入れなど、子育て支援には積極的に取り組んでいます。みなさんが、このまちで子育てをしながら、やりがいのある仕事が続けられるよう、いろいろと考え努力を続けています。女性のみなさんからの積極的な意見も待っていますよ。

と想っています。美馬市の学校教育の取り組みについて興味があります。今後の計画など教えてください。



千葉 わたしが通う美馬中学校では、子育てサロンに参加して、子育てのお手伝いをするボランティアをしています。わたしたちが大人になるころには、子育てをしながら、もっと女性が働きやすい美馬市であってほしいと思います。

市長 美馬市における将来の児童数は、平成16年には5,540人でしたが、平成21年には4,856人程度に減少すると予測されています。みなさんが、成人するころには、子どもの数が目に見えて減っているということになります。かけがえのない宝である子どもたちを守り育てるために、当然ながら様々な施策を考えています。取材をしていただいたように、「ファミリーサポートセンター」が設置されました。こ



「みまっご宣言」が美馬市教育振興大会で制定されました。これは、江原北小学校の5年生全員（7人）が考えてくれたものですが、この宣言のとおり子どもたちが成長するように、市民の方々と力を合わせ取り組んでいきたい。思いやりがあり、根気強く、美馬市の良さを発見してくれる、みなさんのような子どもたちが健やかに成長してほしいと願っているのです。

山口 わたしは、観光の取材に行きましたが、美馬市にはうだつの町並みや寺町など、魅力的な場所がたくさんあると思います。美馬市の魅力をどんなふうに守り、発信していくのでしょうか。

市長 明石海峡大橋の開通によって、京阪神方面から大勢の観光客の方が県内に来てくれています。そのため、例えば、淡路サービスエリアで観光キャンペーンを行う、関西方面の観光エージェントなどを対象に美馬市の魅力を紹介する体験ツアーを実施したりなど、積極的に美馬市の魅力をPRしています。また、こうした機会を通じて、市外の方々に観光資源の可能性について、貴重なご意見も頂いています。市内各地の観光地が連携して、それぞれが引き立ち、さらに魅力が増す観光美馬市を作っていきたいですね。

そのためには、みなさんのフレッシュな意見もお願います。

藤谷 美馬市の魅力は、剣山をはじめとして、その雄大な自然でもあると思



「四国のまほろば美馬市」を 力を合わせ共に創りあげよう

います。この自然を守るための取り組みをお話してください。

市長 オゾン層の破壊や温暖化など、環境問題は地球規模で深刻化しています。わが国では、平成5年に環境基本法が制定され、リサイクル関連法などが整備され、市民の暮らしにも環境問題は深く関わってきています。特に美

馬市は自然環境の素晴らしさが自慢のまちですから、なお一層、環境を守るための努力が必要です。ゴミの減量や再利用、再資源化など、市民一人ひとりの意識を高め、環境にやさしい社会



を実現するための努力を続けています。できることから確実に実行し、積み重ねていき、ふるさとの自然を守っていく。この美しく豊かな美馬市の自然を次の世代に引き継ぐ努力が、今を生きるわたしたちの使命だと考えています。みなさんの力も、ぜひお貸しください。

美馬市では、市民意識調査や「まちづくり市民会議」でのご意見などを参考に総合計画を策定しました。このなかで、美馬市の進むべき将来像を「四国のまほろば美馬市」としました。この「まほろば」とは、素晴らしいところを表す古語で諸説ありますが、美馬市では、「文化の香りが高く、周囲を山々で囲まれた、実り豊かな土地で美しく住みよいところ」をイメージとしてあります。この将来像に向かって、「共創・協働」という基本理念のもと、誰もが住みたいまちづくりを目指しています。みなさんが、誇りを持てる美馬市、住み続けたいと思える美馬市を、共に力を合わせて創って行きたいのです。

「この座談会の内容は平成18年末の情報に基づいています。」